

これまでの5年 これからの未来

8. 効果的で効率的な行政運営を図るまちづくり

歳出を適正化し、歳入を確保することで
収支の均衡を図ります

- 各種事業の必要性、緊急性、費用対効果を精査し、施策に反映させます。
- 行政改革のための検討を行い、業務の合理化を推進します。
- 適正課税、未収金対策、町施設の使用料・手数料見直しを行います。
- ふるさと納税の拡大、企業誘致の推進を行います。
ふるさと納税（9 億円）【歳入】
企業誘致動画広告業務委託（158 万円）【再掲】
- 将来の町の発展につながる“にぎわいづくり”などの施策には、重点的に財源を投入します。

マイナンバーカード交付体制を強化

- コンビニエンスストアでの各種証明書発行サービスを実施します。

新庁舎敷地
（南側）の
イメージ図



新庁舎などのさらなる整備を推進

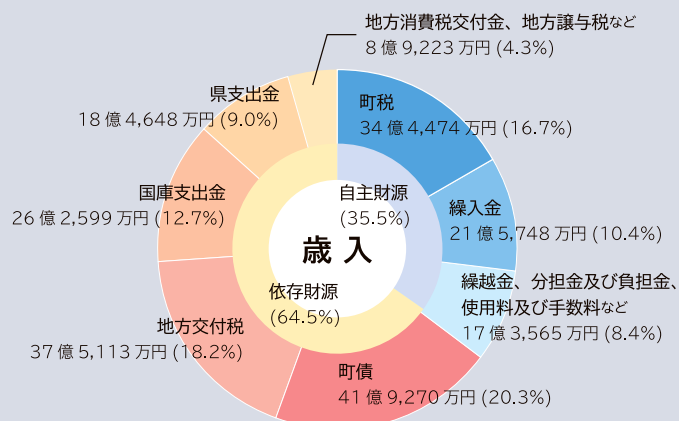
- 令和 4 年度中の完成を目指し、新庁舎の整備を推進します。
新庁舎建設工事費（18 億 2,609 万円）
- 中央公民館、男女共同参画センター、地域ふれあい交流館の複合施設建設に着手します。
複合施設設計業務委託（9,470 万円）

効率的な行政運営へ

- 復旧・復興の状況を踏まえながら、組織体制のあり方の抜本的な見直しを検討します。

令和 3 年度 当初予算

一般会計当初予算額は、206 億 4,640 万円



歳 出

災害復旧費が 30 億 8,925 万円と、前年度から約 22 億円の増加となっています。これは、新庁舎などの建設工事費が含まれていることが主な要因となっています。

なお、特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険）と企業会計（上下水道事業）を含む全会計当初予算額は、296 億 5,628 万円となっています。

歳 入

町が独自に調達できる自主財源の割合は 35.5% で、昨年度に比べ 1.9 ポイント増加しています。これは、ふるさと納税額が増加していることが主な要因となっています。

